

令和 2 年度「(公財)YMFG 地域企業助成基金」助成先概要

企業名	アボンコーポレーション株式会社	代表者	松村 憲吾
所在地	山口県防府市牟礼今宿 1 丁目 18-14	業 種	鋳造業
創 業	1821 年	設 立	2007 年 3 月
資本金	5.8 百円	従業員	3 名
申込部門	応募様式②	推薦団体	なし
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 鋳造製品の開発、製造及び販売 2. 自社製品「鋳田籠」の販売 3. 長州鋳物記念館運営 4. 長州鋳物地域ブランド製品化 	会社沿革	2007 年 法人設立 2021 年 山口県エコファクトリー認定 2013 年 (一社)鋳田籠工法協会発足 2016 年 「やまぐち発新製品」に登録 2019 年 「長州鋳物記念館」「防府市ふるさと納税クラウドファンディング満額達成 2020 年 「長州鋳物記念館」開設
申 請 内 容 (抜粋)			
<p>◎「長州鋳物」の地域ブランド化による地域連携・産業の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当社は創業文政 4 年（1821 年）江戸時代から続く鋳造業者であり、「鋳物で持続可能な社会システムを実現する」を経営方針としている。 ・所在地の防府市は鋳物の歴史が古く、千年以上も前からこの地に伝わっているが、かつて栄えた産業も衰退、高齢化、後継者不足が深刻化している。この千年の歴史がある鋳物に「長州鋳物」と名付け、2020 年 7 月に「長州鋳物記念館」を開館。 ・産学官と連携し、地域に眠っていた地域資源を掘り起こし、地域ブランド化を行い「100 年後 200 年後に受け継がれる産業を創造する」を目標に、地域産業の復活に取り組んでいる。 ※新商品開発中の「鉄の薬缶」は商標登録申請中。 ・「長州鋳物」は防府市の支援のもと、地域全体を巻き込む活動へと発展しており、新たな地域ブランド化による展開が期待され、注目を集めている。 			

令和 2 年度「(公財)YMFG 地域企業助成基金」助成先概要

企業名	株式会社瀬戸内ジャムズガーデン	代表者	松嶋 匡史
所在地	山口県大島郡周防大島町日前 331-8	業 種	食品製造を中心とした 6 次産業
創 業	2003 年 11 月	設 立	2011 年 6 月
資本金	5 百万円	従業員	27 名
申込部門	応募様式②	推薦団体	山口県商工会連合会
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> 1. 農業生産 2. 食品(ジャム)加工 3. 直営販売店運営 4. カフェギャラリー運営 	会 社 沿 革	<ul style="list-style-type: none"> 2003 年瀬戸内ジャムズガーデン創業 2011 年法人化(株式会社化) 2014 年フード・アクション・ニッポン アワード受賞 2015 年中小企業庁が選ぶ「地域活性化 100」選定 2015 年 6 次産業化最優秀賞(農林水産大臣賞)受賞 2017 年地域未来牽引企業に選定(経済産業省)
申 請 内 容 (抜粋)			
<p>◎レモンチェッコ酒造りで繋げる With コロナ時代の新しい観光交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当社は柑橘の加工特性を熟知しており、これまでに 58 件の農家と連携し、マーマレード（柑橘のジャム）だけで 80 種類の商品を開発してきた。 ・この度、同社から申請していたリキュール特区（周防大島経由で内閣府宛申請）が通り、8 月より周防大島は果実酒・リキュール特区となった。これに合わせ、同社も酒造免許申請を行い、10 月 29 日に国税庁から酒造免許を得た。 ・レモン産地の瀬戸内エリアでレモンチェッコを大規模に製造販売しているところはまだなく、先行ブランドとしてのポジション取りは可能。 ・クラウドファンディングを活用し、レモンチェッコを造る物語（レモンの丘造りからレモンの植え付け、栽培管理、収穫、レモンチェッコ造りまで）に参加できるプロジェクトをすでに立ち上げており、10 月 30 日時点で 170 名の参加者を確保。 共感して頂ける方とともに地域を応援してもらうことが、新しい観光交流の在り方の一つを考えている。 			

令和2年度「(公財)YMFG 地域企業助成基金」助成先概要

企業名	株式会社晃祐堂	代表者	土屋 武美
所在地	広島県安芸郡熊野町出来庭 6-6-28	業 種	その他製造業(筆の製造)
創 業	1978年2月	設 立	1990年7月
資本金	10百万円	従業員	95名
申込部門	応募様式②	推薦団体	自薦
事業 内 容	書筆、化粧筆の製造販売	会 社 沿 革	1978年 熊野町にて創業 1990年 法人成り(株式会社晃祐堂) 1995年 中国内江に子会社設立 2000年 中国南通に子会社設立 2012年 ベトナムホーチミンに子会社設立 2014年 化粧筆工房開設
申 請 内 容 (抜粋)			
<p>◎熊野筆と近隣地域コンテンツの連携による地域活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当社は広島の特産品である熊野筆の製造販売を行っており、新型コロナウイルスで例年開催されている「筆祭り」も中止になるなか、観光客及び売上減少を食い止める施策を発案し地域活性化につなげる活動を行う。 ・旅行会社との連携による観光事業の活性化、衛生グッズやWebの強化。近隣地域と連携した魅力発信及び観光資源の企画開発等。 			

令和2年度「(公財)YMFG 地域企業助成基金」助成先概要

企業名	ためま株式会社	代表者	清水 義弘
所在地	広島県広島市中区鶴見町 1-8 901	業 種	情報サービス業
創 業	2020年5月	設 立	2020年5月
資本金	26百万円	従業員	8名
申込部門	応募様式②	推薦団体	一般社団法人中国地域 ニュービジネス協議会
事業内容	公共WEBサイトの企画・制作・運営	会社沿革	2014年5月 創業 2018年3月 地域力創造アドバイザー認定 2018年3月 イベント情報管理特許取得 2018年7月 神戸市長田区採択自治体版開始 2019年6月 中国総合通信局長表彰受賞 2020年4月 第28回中国地域NB優秀賞 受賞
申 請 内 容 (抜粋)			
<p>◎ポストコロナ社会における新たな地域共生情報基盤の開発提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算縮小や職員不足できめ細かな行政サービスの提供が困難になっている地方自治体に対し、住民主体の互助と関係人口に実績のある Web アプリで、GPS 連動の特許取得済みサービスを提供。財政負担を軽くした提供方法とし、将来的な toC、toB の基盤構築にも役立てる。 ・既に自治体との契約実績はあり、さらに増加させ国内のデファクトの確立を行うとともに、商用コンテンツの広告モデルなどの実装を進める。 			